

山口南総合センター ホール利用における感染症対策について

山口南総合センター(以下、当施設)ではホール利用にあたり、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」(公益社団法人全国公立文化施設協会、令和4年10月31日)にもとづき、主催者様に下記のような感染症対策を講じるようお願いしております。

(1)施設に利用申込みを行う時点、若しくは公演概要を検討する時点

1. 予定されている公演におけるガイドラインを踏まえた防止策について、具体的な個々の措置と施設側及び公演主催者側の役割分担を調整してください。
2. 仕込み・リハーサル・撤去において余裕あるスケジュールを設定してください。
3. 休憩時間や入退場時間は余裕を持った設定としてください。
4. 会議室や練習場等は、大声での発声が伴わない利用については、会場の常時換気等、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、定員までの利用としてください。一方で、条件が担保されない場合は定員を制限してください。なお、定員が設定されていない場合は、密が発生しない程度の間隔を空けてください。
5. 公演を中止せざるを得ない事態に至った際の対応や係る費用等の分担について、必要に応じて設置者も交えて確認をしてください。

(2)客席の配席(収容率)

1. 来場者の配席については、できるだけ指定席にするなどして、主催者側で客席状況を管理調整できるようにしてください。
2. 来場者による大声での歓声、声援、唱和等がないことを前提としうる公演については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、収容定員までの配席数(最前列席については後述「5.」参照)とすることが可能です。

3. 上記以外の公演については、正しいマスク着用と発声の抑制の周知及び事業者による個別注意など必要となる感染防止策を総合的に講じた上で、原則として収容率は国の事務連絡や各都道府県の対応指針に従ってください。
4. 高齢者が多数来場すると見込まれる公演については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
5. 客席の最前列席は舞台上の発声等を伴う出演者から一定の距離を取ることで、水平距離で概ね2m程度を確保するよう努力してください。

(3) 公演関係者に関する感染防止策

1. 公演主催者及び公演関係者は、その表現形態に応じて感染防止に努めるようにしてください。
2. 公演時の出演者を除き施設内ではマスクの常時着用を原則とし、公演前後の手指消毒を徹底してください。
3. 楽屋、控室、稽古場等でも不特定多数が触れやすい場所は、必要に応じて消毒し、必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置してください。
4. 楽屋は密にならないように定員を調整するとともに常時換気を励行ください。
5. 舞台袖、舞台裏、楽屋などの狭いスペースでの待機時や、喫煙スペースや洗面スペースや飲食周りなどマスクを外しての利用に際し、各場所に応じた定員制限や会話の抑制等をしてください。
6. その他、練習・稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるとともに、関係者の健康管理に努めてください。なお、主要な関係者については、必要回数のワクチン接種をすることを推奨します。

(4)来場者に関する感染防止策

1. 来場前の検温の要請とともに、来場を控えてもらうケースを事前に十分周知してください。また、その際の振替やチケット代金の払戻等の諸条件については、事前に告知してください。
2. 来場者側の自己検温だけではなく、公演主催者側でも会場入場時に検温等の対策を講じてください。
3. 入退場時の密集回避のため、時間差を設けての入退場や入退場導線の分散、また場内アナウンスやメッセージボード等を使用した呼びかけ等により、一定の距離の間隔を確保してください。
4. 入退場時のエレベーター利用(※当施設設置無)は、密にならないよう定員を制限してください。
5. 公演後の出待ちや面会等は控えるように注意喚起してください。
6. 配慮が求められる来場者、障害者や高齢者等については事前に対応策を検討してください。
7. 都道府県の対応方針等に基づき、公演前後の飲食・会合の抑制等、施設外での感染防止について注意喚起してください。

(5)会場内での感染防止策

① 接触感染防止策

1. 公演主催者は、会場内の不特定多数が触れやすい場所の消毒を適宜行ってください。
2. 公演主催者は、会場の出入口等の必要箇所に手指消毒用の適切な消毒液を設置し、入退場時の利用を周知してください。また、不足が生じないよう定期的な点検を行ってください。
3. 入場時のチケットもぎりについては、係員は適宜手指消毒を検討してください。
4. チラシ・パンフレット・アンケート等は、据え置きとし来場者が自ら取得するか、手渡しの場合には係員は適宜手指消毒をしてください。
5. 公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触は控えるように周知してください。
6. 来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定(来場者が楽屋エリア等に立ち入ること等を制限)してください。

② 飛沫感染防止策

公演の内容等によりますが、来場者は原則的には、会場内では一方向を向き静座し、公演中は継続的な会話等が想定されないことから、適切なマスク着用をすることにより、一定の感染抑制が可能となります。加えて休憩時間や入退場時にも会話の抑制を促し、密集が発生しないように対策を講じてください。また、大声を出すものがいた場合は、個別に注意等を行い、従わない場合は退場を求める等の措置も検討ください。

【公演関係者(特に出演者)⇔来場者間の感染防止策】

1. 感染リスクが高まるような演出(声援を求める等)は控えてください。
2. 来場者の案内や誘導に際しては一定の距離を取るとともに、不織布マスクを着用してください。
3. 来場者と接する窓口(招待受付、当日券窓口)等では、換気に注意をしたうえで、アクリル板等の間仕切りの設置を推奨します。

【来場者⇔来場者間の感染防止策】

1. 施設内ではマスク着用を基本とし、未着用来場者に対しては配付や販売など、個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
2. 休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や収容率、入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設けてください。
3. 休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での長時間の会話や滞留を抑制するように促してください。
4. 休憩時間のトイレや飲食カウンター等では、ロビー等の広さを踏まえて、一定の間隔を空けた整列を促してください。
5. 会場(客席)内での食事(*当施設客席は原則飲食禁止)は、長時間マスクを外すことが想定されますので極力控えてください。

(6)その他、物販等

1. 現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインでの販売やキャッシュレス決済を推奨します。
2. 物販に関わる関係者は、不織布マスクの着用に加え、必要に応じて手指消毒を行ってください。
3. オペラグラス等の貸出物について消毒を行うとともに、消毒が行えない場合は貸し出しを控えてください。